

目的

生涯にわたって心身の健康を保持増進し、豊かなスポーツライフを実現する資質・能力の育成

これまでの取組

第1次推進計画

- 期間 平成22年度～平成24年度（3年間）
- 主な取組 東京都統一体力テストの開始

第2次推進計画

- 期間 平成25年度～平成27年度（3年間）
- 主な取組 コーディネーショントレーニング

第3次推進計画

- 期間 平成28年度～令和2年度（5年間）
- 主な取組 体力向上実践校の指定

オリンピック・パラリンピックの開催

現状

- 体力合計点平均値は、小5男子はH25、小5女子はH26から全国平均超、中2男女は全国平均を下回るが差は減少傾向
- 体力合計点に基づく総合評価(A～E層)では、小5男子、中2男子、高2男子でD・E層の割合が増加傾向
- 1日の携帯電話、タブレット端末等の使用時間（スクリーンタイム）が増加傾向

課題

- D・E層を対象とした取組が必要
- 発達段階に応じた運動嫌いを少なくする取組、運動機会を創出する取組が必要
- 児童・生徒の実態を踏まえた健康的な生活習慣を定着させる取組が必要

第4次推進計画（素案）

- <方針>
- 1 運動好きを増やす
 - 2 東京都統一体力テスト総合評価D・E層の児童・生徒に対する運動習慣の定着を図り、体力の全体的な底上げ
 - 3 ICTを活用した体力向上方策の推進
 - 4 オリンピック・パラリンピックのレガシーによる多様な体力向上方策の推進

<期間> 令和4年度から令和8年度までの5年間

<取組>

1 気運醸成

- ・都の「総合的な子供の基礎体力向上方策」の理解を深め、運動好きの児童・生徒を増やし、豊かなスポーツライフ実現する資質・能力を育成
- ・都統一体力テスト等の結果を活用した実態把握

2 運動習慣の改善・定着

- ・都統一体力テスト等の結果を活用した実態把握を踏まえた児童・生徒の多様な運動機会の設定による運動習慣の改善・定着

3 生活習慣の改善・定着

- ・児童・生徒の実態を踏まえた健康教育の充実による健康的な生活習慣の定着

4 授業等改善

- ・学習指導要領改訂の趣旨を踏まえた系統性のある授業及び組織的な授業改善

5 運動部活動の推進

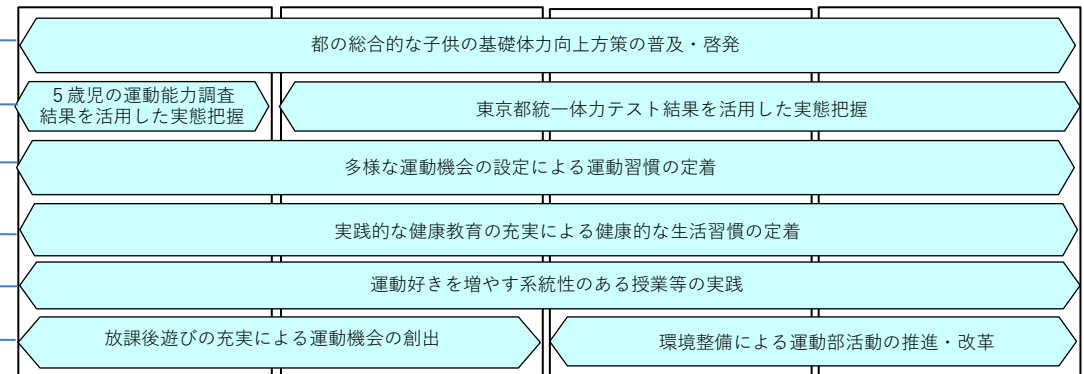
- ・生徒のニーズに応じた運動機会の創出や環境の整備による運動部活動の一層の充実

<幼稚園>

<小学校>

<中学校>

<高等学校>



今後の流れ

月	令和2年度					令和3年度										
	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	1	2	3
内容等			第1回作成委員会			第2回作成委員会			第3回作成委員会		第4回作成委員会			教育委員会報告	周知	
			・三次計画の検証 ・四次計画の方向性			・有識者等の知見共有 ・具体的な施策検討			・具体的な原案検討		・四次計画原案案検討・修正					冊子配布
	現状把握		第4次推進計画検討・原稿案作成					原稿案検討・修正					冊子配布			

作成委員

学識経験者に委員を委嘱し、作成委員会を設置

荻原 朋子

（順天堂大学スポーツ健康科学部 准教授）

鈴木 康弘

（十文字学園女子大学教育人文学部 教授）

高橋 修一

（日本女子体育大学体育学部 教授）

野井 真吾

（日本体育大学体育学部 教授）